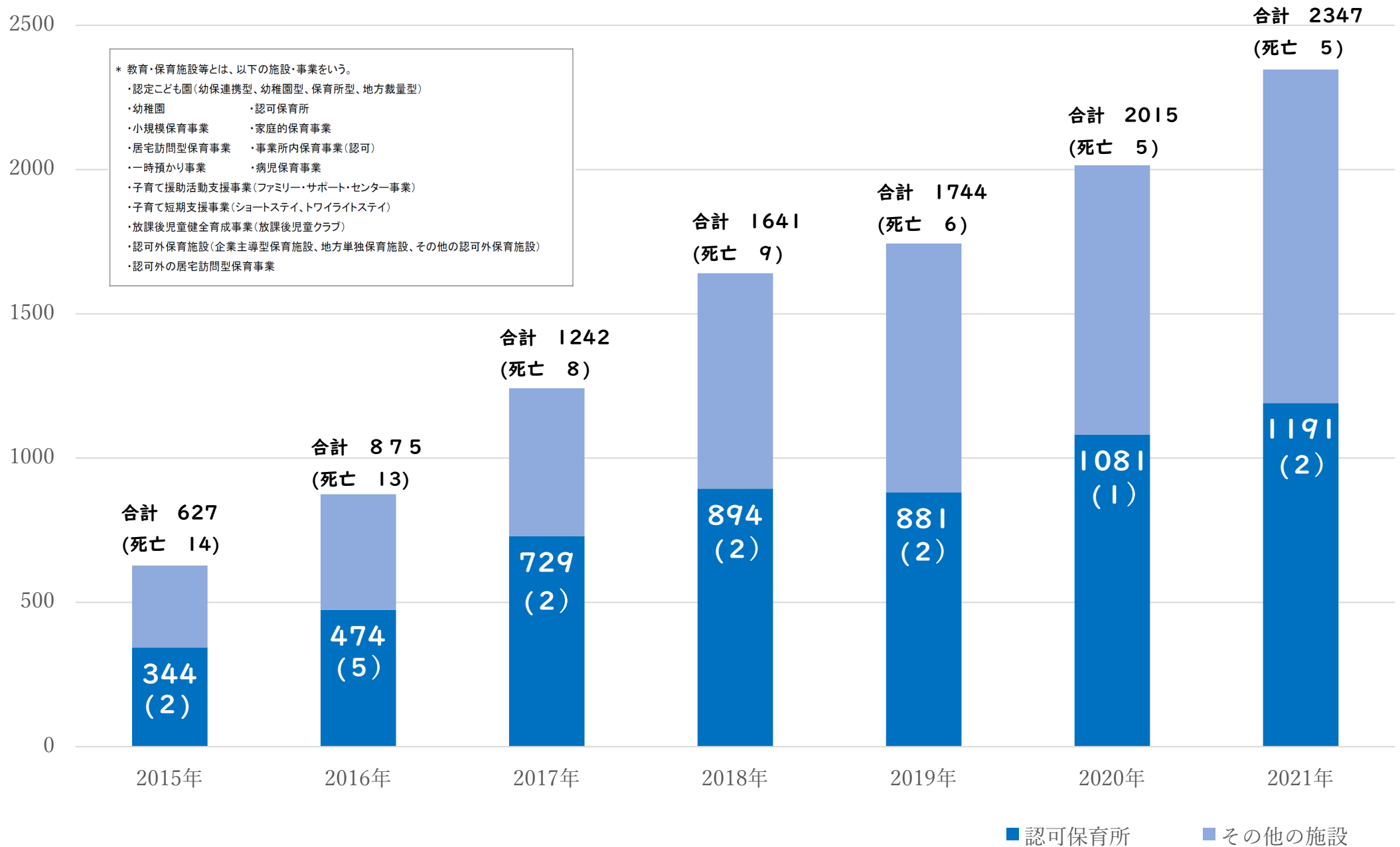


2022年度 保育中に起きた主な事件

- 4月 保育士の目が離れたすきに園から出て川に転落 園児死亡 広島
- 6月 保育士3人が園児たちに虐待・暴行行為 静岡
- 8月 1歳の4人の園児に対し虐待行為 富山
- 9月 3歳園児が約5時間送迎バスに置き去りとなり死亡 静岡
- 10月 認可外保育所で服を脱がせて食事させるなど不適切行為 宮城
- 12月 女性保育士3人が園児計6人の頭をたたくなど不適切保育 千葉

教育・保育施設等における死亡・重篤な負傷等件数



日本の保育士配置基準の変遷

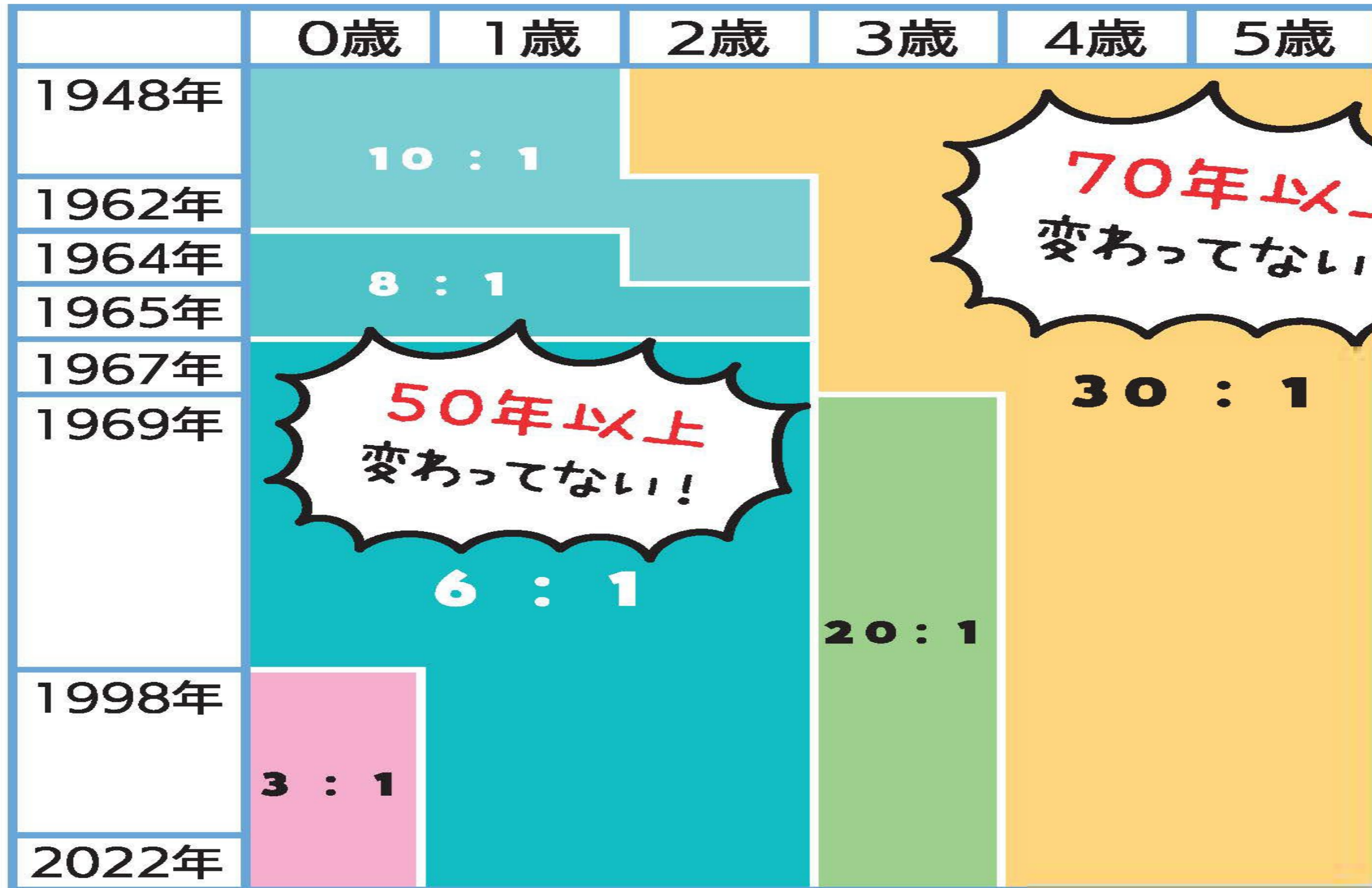
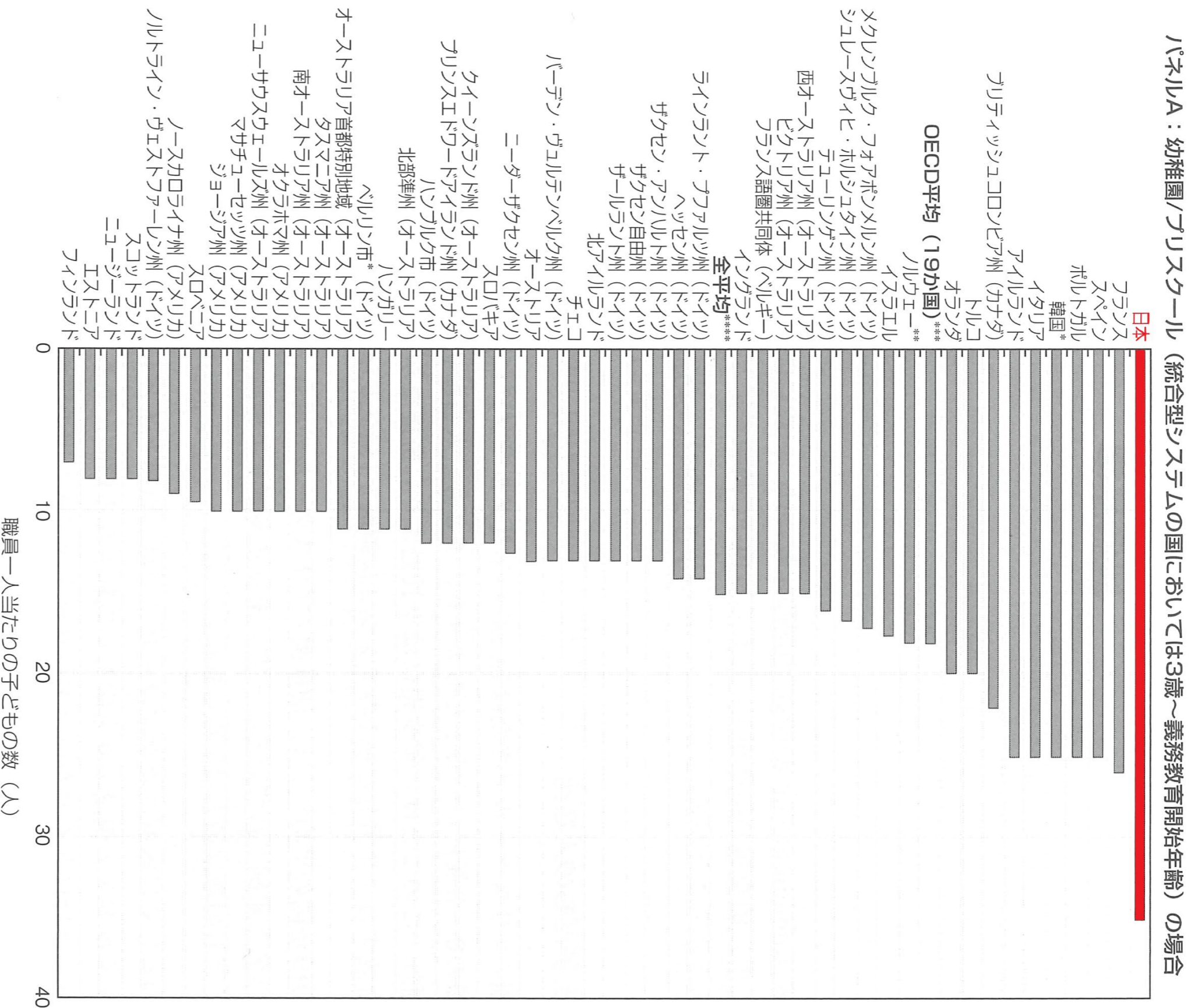


図 1.5 [1/2] 規制で決められているECECの職員一人当たりの子どもの数の上限



*職員と子どもの人数比について、年齢ごとに異なる規制を定めている国・自治体については、以下のデータを掲載している。ベルリン市（ドイツ）：1日当たり5～7時間（園児3～6歳児）。韓国：4歳児。

**ノルウエーの数値は有資格の幼稚園教諭のみを対象としている。一方、規制によれば園内に他の職員がいれば、職員一人当たりの子どもの数を効果的に減じることができることになっている。ノルウエーの数値は、3～6歳児についての規制による。

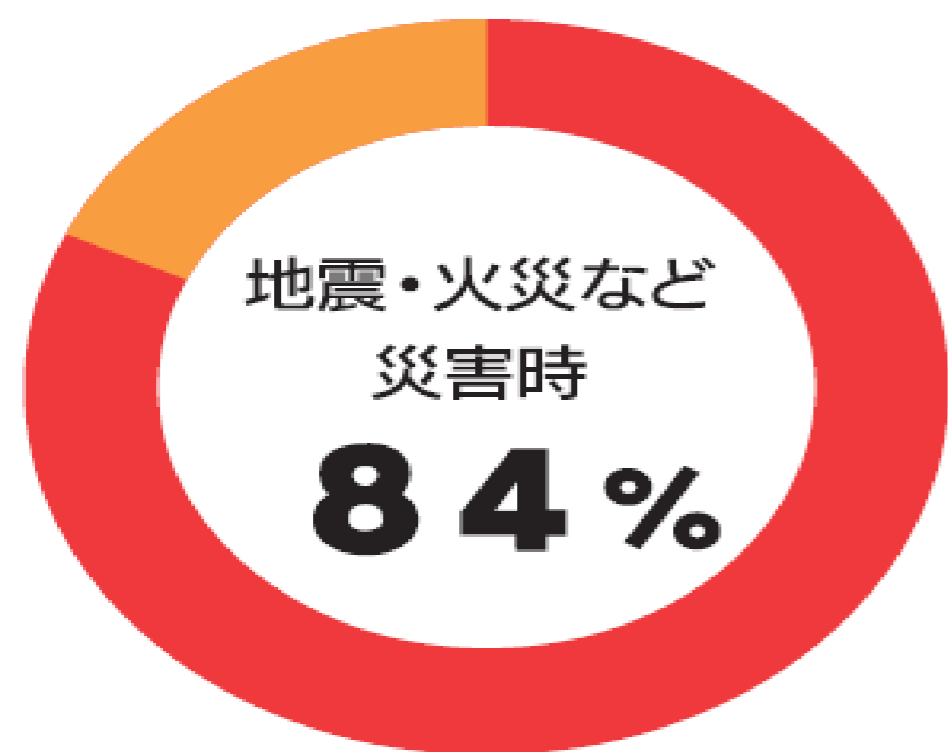
***OECD19か国の平均値は、以下のOECD加盟国について報告されたデータにのみ基づき算出されており、行政区や準州などには除いている。オーストラリア、チェコ、エストニア、フィンランド、フランス、ハンガリー、アイスランド、イスラエル、イタリア、日本、韓国、オランダ、ニュージージーランド、ノルウエー、ポルトガル、スロバキア、スロベニア、スペイン、トルコ。

****全平均値は、図内に含まれる国と区域のデータに基づいている。

注：本調査において、職員と子どもの人数比の平均値を報告した国は、平均値は、規制上の「最低」要件とはならないためグラフには含まれていない。規制上の比率が、複数の職員対子どもの最大数（たとえば、2：15のように）で示されている国の場合、数値は職員一人当たり換算されている。

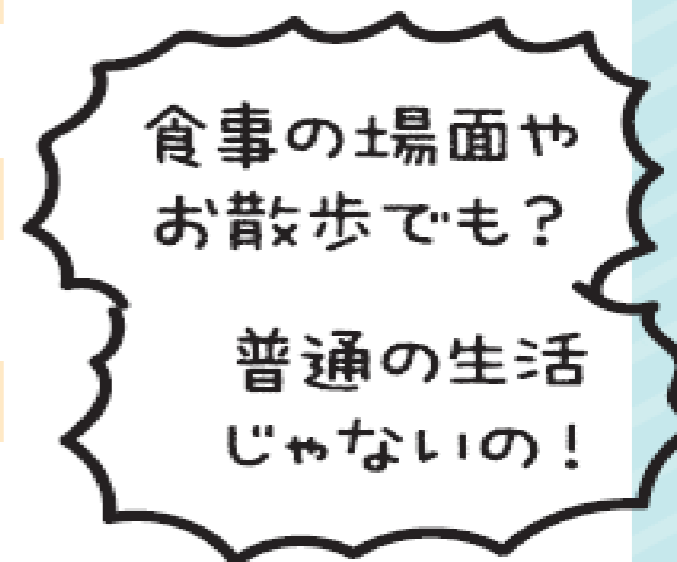
《保育者の声》

『国の保育士配置基準では、子どもの命と安全を守れない』
と思う場面を選んでください。(あてはまるすべてを選択)



保育士2,648人が回答

地震・火災など災害時…	84%
防犯上 ……………	59%
食事の場面 ……………	35%
午睡時 ……………	23%
プールなど水遊び ……………	58%
お散歩 ……………	60%
園庭・室内での活動 ……	33%
早朝夕刻の保育 ……………	43%
その他 ……………	3%
未回答・不明 ……………	5%



子どもたちにもう1人保育士を！～70年以上変わらない保育士配置基準を考えるアンケート～
集計結果の最終報告より引用

《保護者の声》

現在の日本の配置基準について	人数	率
とても不足していると思う	700	47.7%
不足していると思う	548	37.4%
どちらかといえば不足していると思う	190	13.0%
どちらかといえば十分だと思う	20	1.4%
十分だと思う	5	0.3%
未回答・不明	4	0.3%
合計	1,467	100%

保護者アンケート集計結果の最終報告より

子どものかかわり

☆3歳児18人を一人で担任していた時、まだまだおもしろする子ども多い中で、便の始末にかかっている間に、部屋にいる子がケンカで噛みつきがあったり、イスに登って大人の事務戸棚からセロテープをとろうとして、テープカッターを落としてしまいテープカッター刃の部分でとなりになっていた子の頭を切ってしまう、3針縫うケガをさせてしまったことがあります。



《保育者の声》

十分に行えないこと	人数	率
子どもとのかかわり	1,918	72%
保護者とのかかわり	973	37%
給食時	985	37%
体力面	783	30%
子どもと離れての休憩	827	31%
休暇取得	1,373	52%
保育計画など事務	1,370	52%
研修	523	20%
職員間での相談や話し合い	1,215	46%
その他	53	2%
未回答・不明	188	7%
回答総数	2,648	100%

4コマ漫画

アンケートの記述回答も四コマ漫画で紹介!

4

幼児クラスは、(3・4・5歳児クラス)1人担任です



5

もっと余裕をもって子どもたちと関わりたい!



提 言

2022年11月
子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会

1 国の保育士配置基準を改善すること

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
改善基準	2対1	3対1	5対1	10対1	15対1	15対1

2 1日11時間の標準時間及び年間300日開所に対応した配置基準に拡充すること

3 4月1日の入所児童数ではなく、年齢別の定員数に応じた職員を配置できるようにすること

4 配置する職員数の算定方法を改善すること

- 1・2歳児や4・5歳児という包括ではなく、年齢毎に配置人数を算出すること。
- 現在、少数点以下は四捨五入になっているのを少数点以下繰り上げにすること。

5 保育所の配置基準を幼稚園と同等にすること

- 保育所に適用されている「チーム保育推進加算」を、幼稚園と同じ「チーム保育加配加算」にすること。
- 副園長加算、学級編成調整加配加算、講師配置加算を保育所にも適用すること。

6 代替職員(フリー保育士)の配置をすること

- 休憩時間・年次有給休暇・研修への参加を保障できる代替え職員を配置すること。

7 専門職の配置を改善すること

- 給食室の栄養士・調理師の配置基準を改善すること。
- 保育施設に常勤の看護師を配置すること。
- すべての保育施設に常勤の事務員を配置すること。

8 保育士等の賃金と労働条件の改善を行うこと

9 面積基準を現行の2倍に広げること

以上のことを踏まえて、抜本的改革を求めます。

まずは、以下の項目だけでも、来年度予算で緊急に改善することを強く求めます。

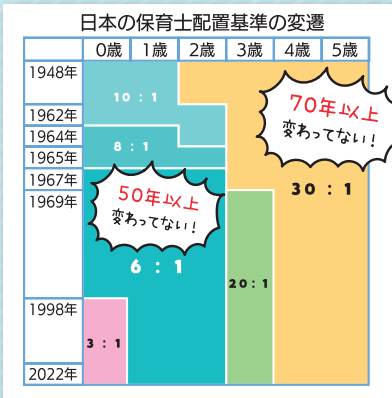
【緊急改善要求】 職員の配置基準の改善について

- (1) 国の保育士配置基準を、1歳児5対1、3歳児15対1、4・5歳児25対1に改善すること。
- (2) 配置する職員数の算定方法に関わって、現在少数点以下は四捨五入になっているのを、少数点以下繰り上げにすること。
- (3) 保育所の「チーム保育推進加算」を、幼稚園・認定こども園と同等の「チーム保育加配加算」にすること。
- (4) 乳児を預かるすべての認可保育所に看護師を配置すること。

国の保育士配置基準を改善すること

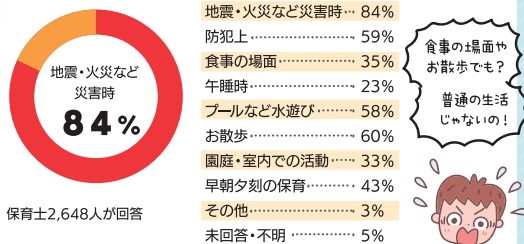
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
現行基準	3対1	6対1		20対1	30対1	
改善基準	2対1	3対1	5対1	10対1	15対1	

70年以上変わらない配置基準に子どもたちは怒っています！
保育士1人で何人の子どもを見られるの？



長時間保育、休日保育、障害児保育、外国籍家庭の保育など、社会の求める保育のあり方は、その時々で変化してきましたが、現行の保育士配置基準は、70年以上変化のないまま放置されています。実行委員会が行った保育士アンケートでも、現行の配置基準の限界が示されました。子どもの命と発達する権利を保障するために、保育士配置基準の大幅な改善は待たないの課題です。

『国の保育士配置基準では、子どもの命と安全を守れない』
と思う場面を選んでください。(あてはまるすべてを選択)

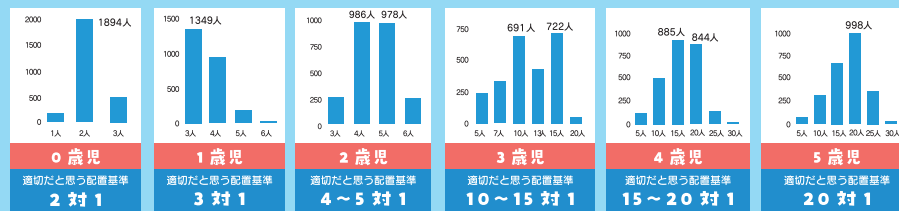


子どもたちに1人保育士を！～70年以上変わらない保育士配置基準を考えるアンケート～
集計結果の最終報告より引用



同アンケートは、各クラスの適切な配置基準も聞いています。

保育士1人が受け持つ子どもの人数で適切だと思うものを選んでください



子どもたちにもう1人保育士を！～70年以上変わらない保育士配置基準を考えるアンケート～ 集計結果の最終報告より引用

0歳児は、食事もおむつ替えもしっかり目と目を合わせて気持ちを共感しながら生活をします。保育士1人で2人が適切です。

1歳児には、全員が目が行き届く3人くらいが安心です。

自分が芽生え動きたくてたまらない1歳児には、全員が目が行き届く3人くらいが安心です。

2歳児クラスから3歳児クラスへの進級は、乳児クラスから幼児クラスへの進級ということで、環境の変化など子どもたちにとって負担が大きいタイミングの一つとなっています。進級の負担を和らげるためにも、2歳児クラスを5対1、3歳児クラスを10対1へと改善を求めます。

仲間といっしょに何かやりとげることが楽しい4・5歳児は、5～6人ほどのサイズのグループでよくあそびます。保育士1人で把握できるのが3グループであり、クラス全体の声に耳を傾けられる最適人数は15人が適当だと考えます。国際的には3歳以上の幼児の受け持ち人数は10～15人程度が普通であり、大幅な改善を求めます。

現在の日本の配置基準について	人数	率
とても不足していると思う	700	47.7%
不足していると思う	548	37.4%
どちらかといえば不足していると思う	190	13.0%
どちらかといえば十分だと思う	20	1.4%
十分だと思う	5	0.3%
未回答・不明	4	0.3%
合計	1,467	100%

保護者アンケート集計結果の最終報告より

さらに、実行委員会が行った保護者アンケートからは、配置基準の改善は保育者だけの願いではなく、保護者の願いでもあることがわかりました。現行の日本の配置基準について、「どちらかといえば不足している」という人も含めると、回答した保護者のうち98%が不足していると感じています。このように、保育士配置基準の早急な改善が求められています。

また、アンケートの結果から、どのクラスも保育士を複数配置することや、各クラスの子どもの集団の最適な規模について、議論を進めていく必要性が示されました。

子どもたちにもう1人保育士を！

○特定教育・保育等に要する費用の額の算定に関する基準等の実施上の留意事項について（平成28年8月23日付け内閣府・文科科学省・厚生労働省局長連名通知）【抜粋】

別紙1（幼稚園（教育標準時間認定1号））

6. チーム保育加配加算（⑩）

（1）加算の要件

基本分単価（⑤）及び他の加算等の認定に当たって求められる「必要教員数」を超えて、教員（幼稚園教諭の免許状を有するが教諭等の発令を受けていない教育補助者を含む。）を配置する施設において、副担任等の学級担任以外の教員を配置する、少人数の学級編制を行うなど、低年齢児を中心として小集団化したグループ教育を実施する場合に加算する。

なお、本加算の算定上の「加配人数」は、教育標準時間認定子どもに係る利用定員の区分ごとの上限人数^{（注1）}の範囲内で、「必要教員数」を超えて配置する教員数とする。

（注1）教育標準時間認定子どもに係る利用定員の区分ごとの上限人数

45人以下：1人、46人以上150人以下：2人、151人以上240人以下：3人、
241人以上270人以下：3.5人、271人以上300人以下：5人、
301人以上450人以下：6人、451人以上：8人

別紙2（保育所（保育認定2・3号））

7. チーム保育推進加算（⑬）

（1）加算の要件

以下の要件全てに該当する施設に加算する。

（ア）「必要保育士数」（基本分単価（⑥））及び他の加算の認定に当たって求められる数）を超えて保育士を配置していること

（イ）キヤリアを積んだチームリーダーの位置付け等チーム保育体制を整備すること^{（注1）}

（ウ）職員の平均経歴年数が12年以上であること^{（注2）}

（エ）当該加算による増収は、保育士の増員や、当該保育所全体の職員の賃金改善に充てること

（注1）チーム保育体制の整備とは、Ⅱの1.（2）（ア）iの年齢別配置基準（3歳児配置改善加算が適用される場合には、その配置基準）を超えて、主に3～5歳児について複数保育士による保育体制の構築をいう。

（注2）職員の平均経歴年数については、処遇改善等加算Iにおける職員1人当たりの平均経歴年数をもって確認すること。

名古屋市の保育所等のか所数及び利用人数等

1 か所数及び利用人数

(R4.4現在)

区分	か所数 (か所)	利用人数 (人)
保育所・認定こども園	544	49,627
内、私立保育所・認定こども園	454	41,223
幼稚園	153	22,277
内、私立・新制度移行幼稚園	22	3,167

2 チーム保育推進加算等、適用か所数等

(R4.12現在)

区分	か所数 (か所)	チーム保育推進加算等 適用か所数(※)(か所)
私立保育所	354	88
内、定員121人以上の私立保育所 (全か所数に対する割合 (%))	47 (13.3)	23 (26.1)
私立認定こども園	100	86
私立・新制度移行幼稚園	22	21

※ 私立保育園は「チーム保育推進加算」を、私立認定こども園及び私立・新制度移行幼稚園は「チーム保育加配加算」を、令和4年4月～12月までの間で、一月でも加算適用している施設数。